



遊びを通して
こころ動かし
学び合う姿を
育む

秋田幼稚園

本園の紹介



保育目標
「神を愛し、人を愛し、自然を愛する心を育む」



本園の特徴

- ・キリスト教保育を行っています。
- ・礼拝を守ります。
- ・子ども達が、自分の好きな遊びを生き生きと楽しむことを大切にしています。



研究の概要

研究主題

「遊びを通してこころ動かし学び合う姿を育む」

研究主題の捉え方



環境と応答し合いながら
機敏に心を動かしている

協力

試行錯誤



友達と共に成長してく

研究主題の捉え方

遊びや生活の中で、「学び合うところ」を育むためには、人とのかかわりが不可欠である。



一人ひとりの内面に何が育っているのか

かかわりを通してどのような育ちが期待できるのか

研究の視点

心の動き

共に育つ過程

教師の援助・役割



研究計画

1年次 ～幼児理解を深める～

2年次 ～教師のかかわりを視点に～

3年次 ～育むための環境構成を考える～

問い

- ・ どのような環境によって学び合うところが育まれたと感じましたか。
- ・ どのような働きかけや環境構成が必要だと考えますか。

1年次の研究

幼児理解を深める

園内研修



心のつぶやき

教師の援助や
環境構成とは

今、育って
いること



次年度の研究にむけて
「教師のかかわり」・連続的に捉える

2年次の研究

教師のかかわりを視点に

年中組事例 R男の心の動き ①

不安や焦りを
強く感じると
吐き戻してし
まう。




安心

船ごっこ




入りたいな

イメージがバラバラ



教師も一緒に安心

この3人なら伝えられる

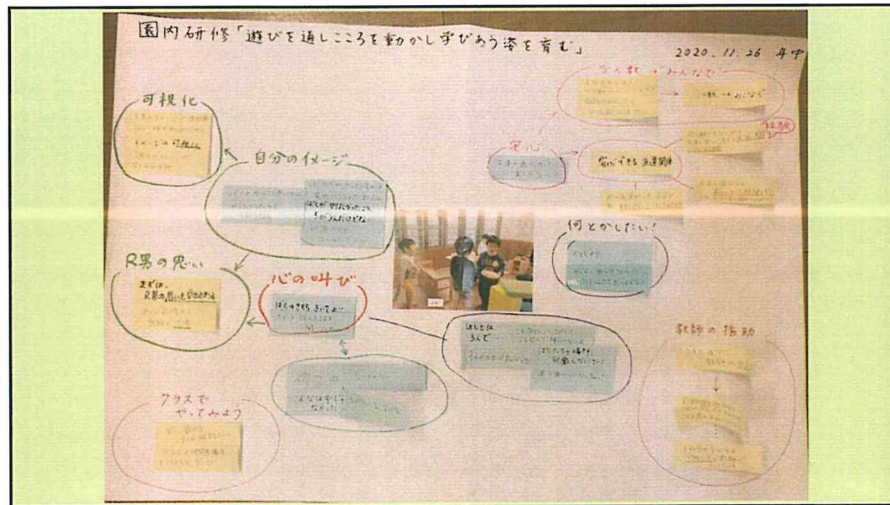


教師の願い

- 友達に興味を持ち、自分の思いを出しながら遊びをすすめていく楽しさを味わってほしい。また、その中で互いの思いを出し合い、関わりを深めていってほしい。

思い思いに遊びだす友達の姿を見て…
R男の思いは？





R男の心が動かされている姿

自分のイメージ

言いたいけど言えない

何とかなしたい!

友達関係の深まり

次の育ちにつながる経験や教師の援助

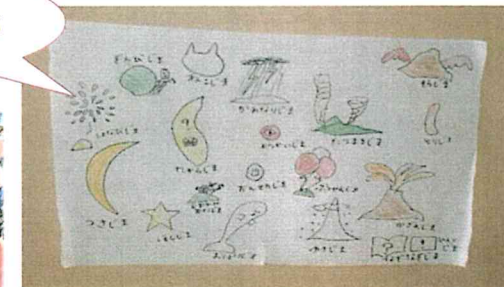
小さい集団で

イメージの共有
可視化

教師が遊びの仲間になる

研修後の取り組み


イメージの可視化



イメージは
みんな違う、
でもおもしろい！



その後の姿



やりたいことが
できるように
なったんだ。


友達といるって
楽しいな

ありのままの思いに寄り添う

3年次の研究

育むための環境構成を考える

年長組事例 R男の心の動き ②



緊張と不安から
目をパチパチ
させていた。

教師との関係が安定

友達とのかかわり

友達とのかかわりの中で



友達を受け入れる
心の寛容さ

友達関係が
広がってきた



気の合う仲間と
一緒なら



教師の思い
・こんなにも、自信をもち積極的に
園生活を送られるようになって
きたことを嬉しく思い、驚いた。

反面、時々無理はして
いないか?と心配にな
ることがある。

集団の中で苦手意識を持っていること



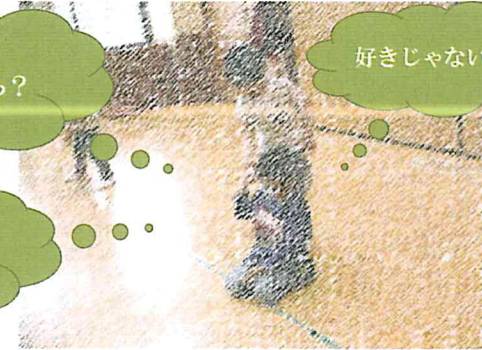
追いかけるのはいいけど
追いかけるのは嫌だ



上手く踊れないから？

好きじゃない？

恥ずかしいから？



教師の願い

クラス又は、学年の仲間と楽しんで
やり遂げる充実感や達成感を味わっ
てほしい。

ちょっと背中を押してあ
げるアプローチをした
いと思っているが、ど
のような方法があるか

R男の心が動かされていること

教師との
信頼関係

友達関係の深まり

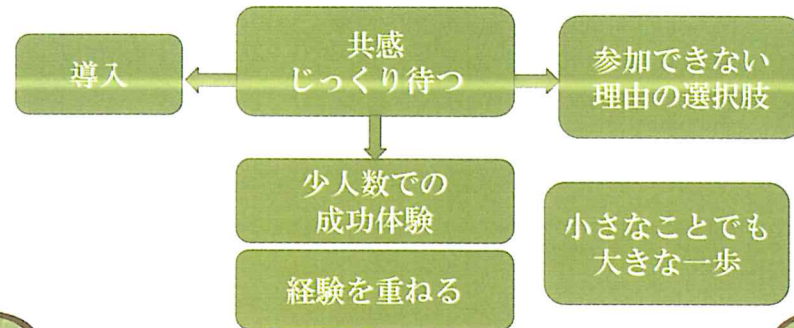
年長に
なった！

思いが
伝えられる

心の準備完了！

案外
悪くなかった

次の育ちにつながる環境構成について

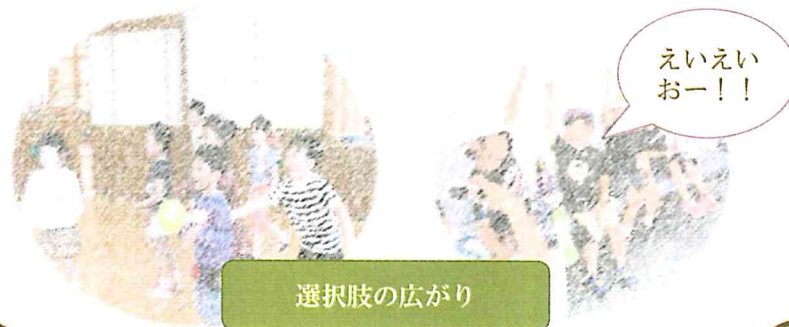


研修後の取り組み ～導入の工夫～



見通しが持てる安心感

～経験の積み重ね～



選択肢の広がり

～R男の心の変化～

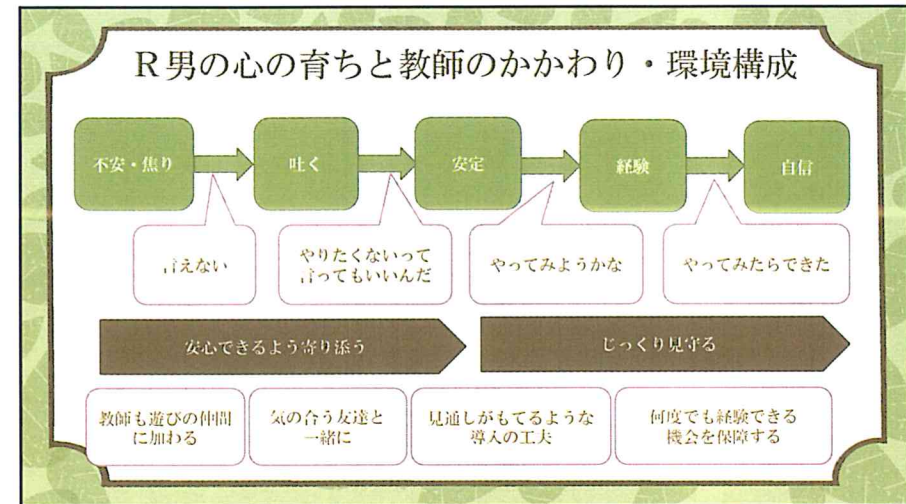
おとまり会の準備



みんなで
ウォーター
スライダーを
やりたい！



不安？
心配？



研究のまとめ

～幼児理解を深める～

子どもの姿から心のつぶやきを多面的に捉えていくこと

子どもの姿や成長に繋がる教師の援助について、
共通理解を深めること

～教師のかかわりを視点に～

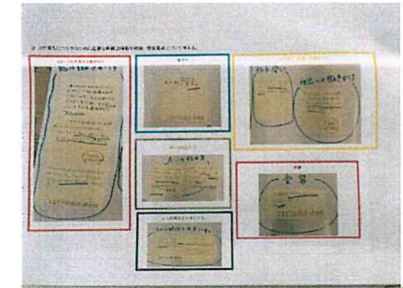
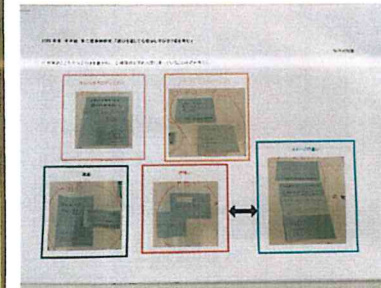


気になる姿



成長の兆し

班別研究



教師のかかわりにおいて大切にしたいこと

子どもの実態から、行動の背景や内面を丁寧に探っていくこと

ありのままの姿を受けとめ、願いをもって継続的に
かかわっていくこと

様々な角度から子どもを理解しようとし、
その子どもにとって必要な援助の在り方の一つではないということ

直接援助するほかに、見通しを持って環境を整えたり、
自ら学ぼうとする姿を焦らずじっくりと見守ったりすること

～育むための環境構成について考える～



人的環境以外
の環境構成
て？

「環境」の3つの意味

全体的には……

- ・ 自然環境
- ・ 地域環境
- ・ 社会環境

身の周りでは……

- ・ 園内環境
- ・ 安全環境
- ・ 遊具環境
- ・ 人的環境

領域「環境」では……

- ・ 自然現象
- ・ 物質(水、砂など)
- ・ 植物
- ・ 動物
- ・ 物(道具、遊具など)
- ・ 数量形
- ・ 標識や文字や情報
- ・ 地域の施設
- ・ 国旗

※2019年度 宮城教育大学
佐藤哲也先生からの参考資料

3年間の研究を通して



ご清聴ありがとうございました。

問い

- ・ どういう環境によって学び合うところが育まれたと感じましたか。
- ・ どのような働きかけや環境構成が必要だったと考えますか。